

## 令和6年度病害虫発生予報第1号

長崎県病害虫防除所長

## 【予報の概要】

農作物名	病 害 虫 名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
麦 類	うどんこ病	並	並
	赤かび病	やや多	やや多
ばれいしょ	疫病（防除情報第1号継続）	並	やや多
	アブラムシ類	並	並
	ジャガイモガ	並	並
トマト	黄化葉巻病	並	並
	灰色かび病	やや多	やや多
	コナジラミ類（防除情報第2号）	やや多	やや多
いちご （本圃）	灰色かび病	やや多	やや多
	ハダニ類	少	やや少
	アザミウマ類	やや少	並
果樹共通	カメムシ類（防除情報第3号）	やや多	やや多
茶	カンザワハダニ	少	少
	チャノキイロアザミウマ	少	少
	クワシロカイガラムシ	少	少
	（防除情報第4号）		

## 【発生予報】

本文の（ ）内は平年値

## 麦 類

## 1. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査（大麦9筆、小麦15筆）の結果、発生を認めなかった（大麦 発生を認めない、小麦 発病茎率0.0%、発生圃場率0.8%）。

イ 4月3半旬の県予察圃場（無防除、諫早市）調査の結果、発生を認めなかった（大麦 発生を認めない、小麦 過去10か年平均 5.5%）。

## 2. 赤かび病

(1) 予報内容：発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査（大麦9筆、小麦15筆）の結果、大麦では発生を認めなかった（発生を認めない）、小麦では発病穂率は0.1%、発生圃場率は13.3%（発生を認めない）であった。

イ 4月3半旬の県予察圃場（無防除、諫早市）調査の結果、大麦では発病穂率は1.0%（発生を認めない）、小麦では発生を認めなかった（発生を認めない）。

ウ 感染時期（小麦：開花期、大麦：蒴殻抽出期）に感染に好適な気象条件で推移した。

エ 向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か多い見込みであり、本病の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

薬剤の種類によっては、麦種ごとに農薬使用基準が異なる場合があるので、使用にあたっては収穫前日数及び使用回数に特に注意する。

ばれいしょ

1. 疫 病

令和6年4月4日付け**病害虫発生予察防除情報第1号**を継続。

なお、その後の発生状況については以下のとおりである。

(1) 予報内容：発生程度 やや多

(2) 予報の根拠等

ア 4月前期の巡回調査(24筆)の結果、発生を認めなかった(過去10か年平均 発病株率0.2%、発生圃場率1.3%)。

イ 向こう1か月の降水量は平年並か多い見込みであり、本病の発生に好適である。

ウ 県関係機関への聞き取りで、4月1半旬に発生が確認されている。

エ **病害虫発生予察防除情報第1号**を参考に、的確で効率的な防除を行う。

2. アブラムシ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査(24筆)の結果、寄生株率は4.4%(5.6%)、発生圃場率は33.3%(40.6%)であった。

イ 黄色水盤トラップ(雲仙市：中山間営農研究室調査)では、トラップ設置(3月上旬)から成虫の誘殺が確認されているが、平年(過去5か年平均)より少ない状況で推移している。

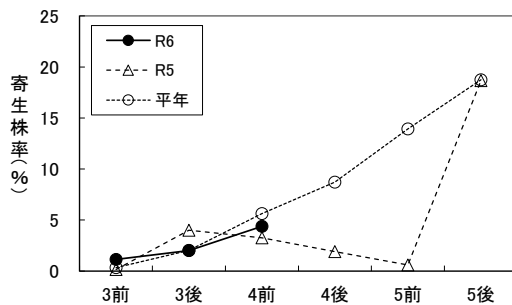


図 ばれいしょアブラムシ類寄生株率の推移

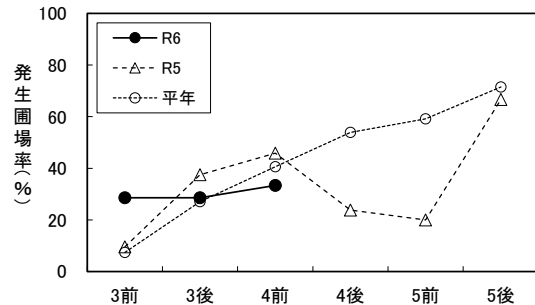


図 ばれいしょアブラムシ類発生圃場率の推移

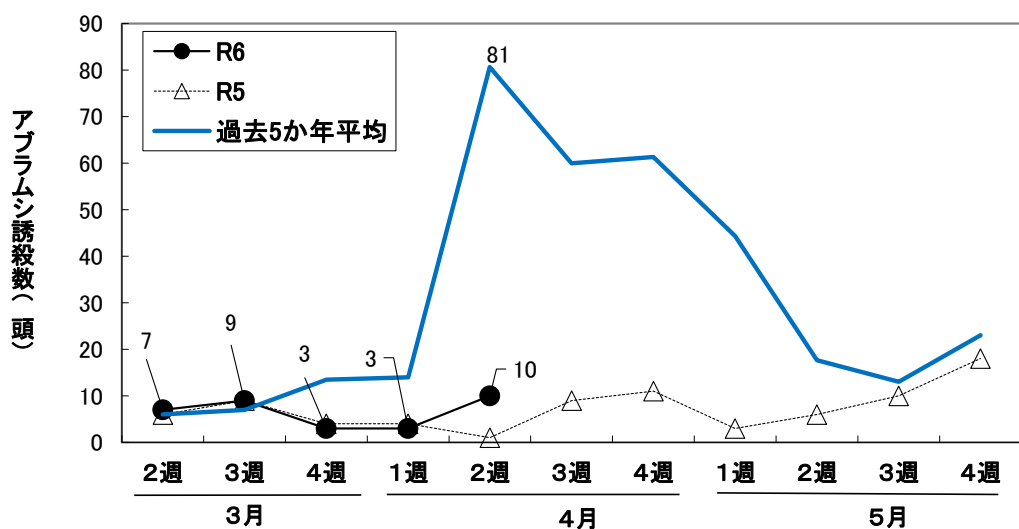


図 黄色水盤トラップへのアブラムシ誘殺数(雲仙市愛野)

### 3. ジャガイモガ

- (1) 予報内容：発生程度 並  
 (2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査(24筆)の結果、発生を認めなかった(被害株率0.0%、発生圃場率2.1%)。

## トマト

### 1. 黄化葉巻病

- (1) 予報内容：発生程度 並  
 (2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査(9筆)の結果、発病株率は0.1%(0.3%)、発生圃場率は11.1%(18.8%)であった。

### 2. 灰色かび病

- (1) 予報内容：発生程度 やや多  
 (2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査(9筆)の結果、発病果率は0.3%(0.2%)、発生圃場率は22.2%(16.7%)であった。発病葉率は4.8%(0.7%)、発生圃場率は33.3%(27.8%)で、一部多発圃場が見られた。

イ 向こう1か月の降水量は平年並が多い見込みであり、本病の発生に好適である。

- (3) 防除上注意すべき事項

ア 하우스内が多湿にならないよう曇雨天時でもできるだけ換気を行う。

イ 発病果、発病葉は伝染源となるので早急に除去し、ハウス外に持ち出し適正に処分する。

ウ 多発後の薬剤防除は効果が劣るので予防的な防除に努める。

エ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤(令和6年長崎県病害虫防除基準P182~185の「作用機構による分類(FRAC)」参照)を連用しない。

### 3. コナジラミ類

令和6年4月16日付け病害虫発生予察防除情報第2号による。

# いちご

## 1. 灰色かび病

- (1) 予報内容：発生程度 やや多
- (2) 予報の根拠
  - ア 4月前期の巡回調査（27筆）の結果、発病果率は0.5%（0.2%）、発生圃場率は40.7%（20.2%）であった。
  - イ 向こう1か月の降水量は平年並か多い見込みであり、本病の発生に好適である。
- (3) 防除上注意すべき事項
  - ア 하우스内が多湿にならないよう曇雨天時でもできるだけ換気を行う。
  - イ 発病果等の発病部位は伝染源となるので早急に除去し、ハウス外に持ち出し適正に処分する。
  - ウ 多発後の薬剤防除は効果が劣るので予防的な防除に努める。
  - エ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤（令和6年長崎県病害虫防除基準P214～217の「作用機構による分類（FRAC）」参照）を連用しない。

## 2. ハダニ類

- (1) 予報内容：発生程度 やや少
- (2) 予報の根拠
  - ア 4月前期の巡回調査（27筆）の結果、寄生株率は2.9%（14.1%）、発生圃場率は33.3%（61.8%）であった。
  - イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

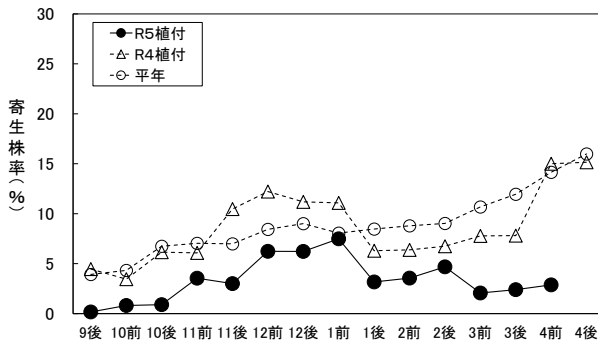


図 いちご ハダニ類 寄生株率

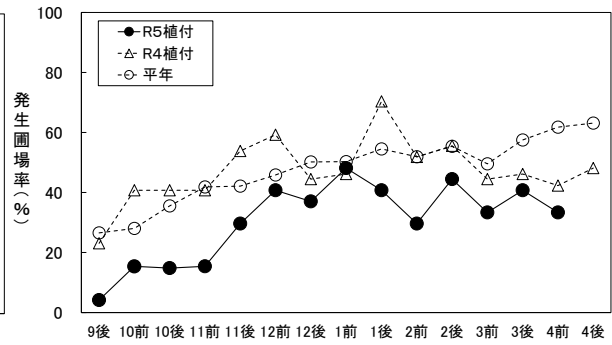


図 いちご ハダニ類 発生圃場率

- (3) 防除上注意すべき事項
  - ア 下葉の裏に多く寄生するので、薬液が下葉の裏に十分かかるよう丁寧に散布する。
  - イ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和6年長崎県病害虫防除基準P218～221の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤の連用を避け、薬剤感受性低下の恐れが少ない気門封鎖剤や異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。
  - ウ 天敵を導入している圃場では、天敵に影響の少ない薬剤を散布する。ただし、ハダニが多発し、今後、天敵による防除効果が見込めない圃場では、天敵への影響は考慮せず効果の高い薬剤を散布する。

## 3. アザミウマ類

- (1) 予報内容：発生程度 並
- (2) 予報の根拠
  - ア 4月前期の巡回調査（27筆）の結果、寄生花率は4.3%（過去8か年平均6.7%）、発生圃場率は48.1%（同70.7%）で、一部多発圃場が見られた。
  - イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

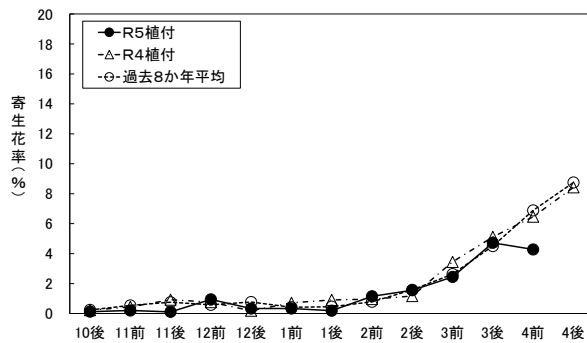


図 いちご アザミウマ類 寄生花率

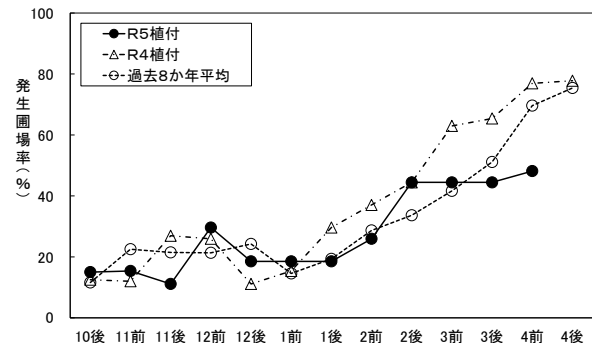


図 いちご アザミウマ類 発生圃場率

### (3) 防除上注意すべき事項

- ア 発生が多くなってからの防除は困難であるので、早期発見・早期防除に努める。
- イ 本虫は薬剤が到達しにくい蕾や花、がく等に寄生しているため、丁寧に薬剤散布を行い薬液がかかるようにする。
- ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤（令和6年長崎県病虫害防除基準P218～221の「作用機構による分類（IRAC）」参照）を連用しない。
- エ ミツバチへの影響日数を確認してから薬剤選定、散布を行う。

## 果樹共通

### 1. カメムシ類

令和6年4月16日付け 病虫害発生予察防除情報第3号による。

## 茶

### 1. カンザワハダニ

- (1) 予報内容：発生程度 少
- (2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は0.2%（1.9%）、発生圃場率は8.3%（34.8%）であった。

### 2. チャノキイロアザミウマ

- (1) 予報内容：発生程度 少
- (2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査（12筆）の結果、たたき落とし虫数（5回×4か所当たり）は0.1頭（2.1頭）、発生圃場率は8.3%（59.1%）であった。

### 3. クワシロカイガラムシ

令和6年4月16日付け 病虫害発生予察防除情報第4号による。

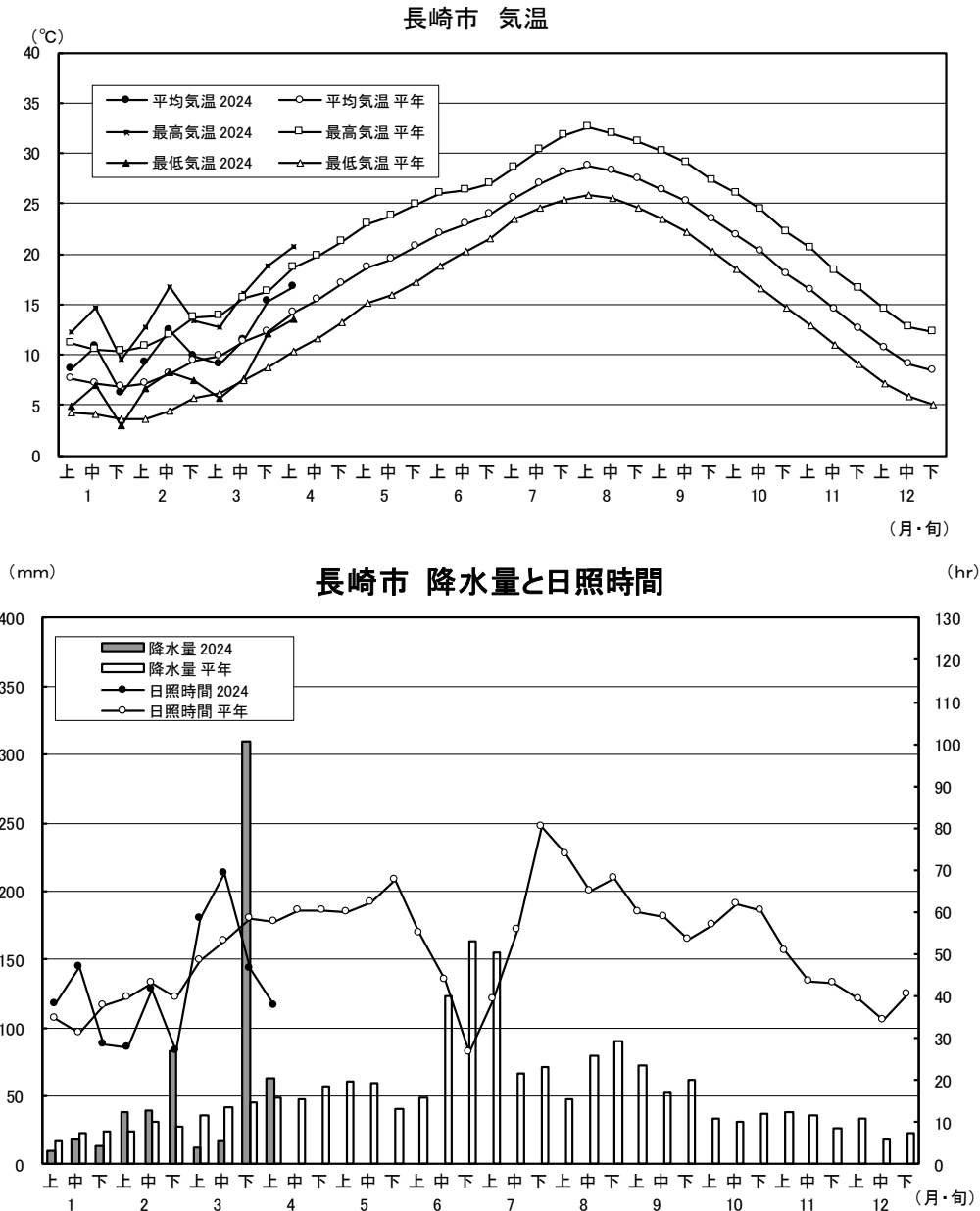
【参考】

(令和6年4月11日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	10	10	80
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

※予報対象地域：九州北部地域

令和6年の気象経過(長崎地方気象台)



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス：<https://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) TEL：0957-26-0027

